

目標達成計画

グループホーム
 事業所名 ユーズホーム
 作成日: 平成 21 年 11 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランに於いてケアが実践されていない日々の記録が不十分。 見直し等のモニタリングの根拠が明確でない。 特記事項残す可い記録に工夫必要。	個別記録への実践の記録を残す。	・記録用紙の検討 ・ケアプランの項目に番号をつけ、記録をする時は番号と実践内容を記入。	12ヶ月
2	33	重度化対応に向けた指針を家族へ説明同意を得ていない。 医療体制が不十分。 ターミナルケアに向けた研修勉強会	医療体制を整備。	・重度化・終末期への対応指針について家族へ説明し、同意を得る。 ・訪問看護ステーションとの契約と連携 ・家族、職員ともにターミナルに向けた勉強会	12ヶ月
3	35	災害対策の訓練を月1回きちんと行っている。 地域への協力呼びかけ必要。	月一回の避難訓練の実施。 地域協力者と共に訓練を行う。	・毎月1回避難訓練の実施。 →予定日行えなかったら、後日行うこと。 ・地区消防団に協力依頼し、合同で訓練を行えるように御用かける。	6ヶ月
4	4	運営推進会議の中で委員らが主体的に動くという方向が働かせかけ必要。 行政担当者や包括職員の参加が望ましい。	運営推進会議の積極的活用。	・委員として市町村担当者、消防団へ御用かける。 ・地域包括と協力し、認知症ケア養成講座を開催し、理解者、協力者を増やす。 ・委員から意見(アンケート)を募る。	6ヶ月
5	5	市町村担当者を直接訪問し情報を提供し、協力を求めることも積極的に働きかけを行っている。	市町村担当者との情報交換を行い、連携を図る。	・市町村担当者(清水支所)に訪ね、協力を依頼する。 ・定期的に会議に出席してもらう。 ・外部評価結果を伝え、GHA理解を求める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。